

27. 「想像する力を育てよう」

2009年9月1日 社会福祉法人 江刺保育園

私たちはある一つの物を見て、これが何であるのかを判断します。まず、最初にその物の名前を思い浮かべます。それからその物の材質やどのように使うのか、新しい物か古い物か等即座に考えることができます。そして、同時に、どんな人たちが使う物なのか、どれだけ価値のある物なのかというようなことも色々と想像することができます。この想像する力が人として生きる上でとても大切なことなのです。



幼い子供たちはどんなに価値のある物を見たとしてもそれは単なる物であり、とても大切な物であるという認識を持つことができません。物の様々な有効性や価値を判断できるようになるためには、たくさんの人たちとの交流や様々な生活体験の中から学習することが必要です。物を見た時、様々な体験によって培った情報や知識によりその物の姿をどのように思い描くのか、その想像力が成長したことの証となるのです。何も想像できなければまだ幼いということであるし、その物の価値や使い方を想像できるようになれば大きく成長したということになります。これは人との関係性を育てる上においても大切なことなのです。

目に見えない部分をどのように想像するのかは、子どもたちが育った環境によって大きく左右されます。人に出会ったとき、その人との付き合いを面倒だという思いで想像するのか、その人と良い関係を作りたいという思いで想像するのかのよって、全く違う姿になるのです。他者から発せられた言葉を理解するうえでも、その言葉からどのような想いを想像できるのかが、その人自身の人生に大きな影響を及ぼすこととなります。

私たちが子どもたちに望むことは、物を理解することに対してはその大切さを良く理解し、どのように使えば役に立つのかということが想像できるようになって欲しいし、人との出会いのときは、その人と良い関係を持って、お互いに支えあいながら交流できることが想像できるようになって欲しいと思います。そのために、暖かく優しい言葉、自由で安全な環境、たくさんの人々との出会い、そして、様々な体験によって、自分が愛し愛され、支え支えられて生きているという実感を持つことが必要なのです。その中で楽しいこと、悲しいこと、困ったことなどの体験を通して、自分の力で自分の理想や有るべき姿を想像し、それに向かって生きて行きたいという目標を持つことができればと思います。

《豆まめ汁》材料

大根、人参、大豆水煮、ネギ、
グリーンピース缶詰、味噌

量はお好みでよろしいです。

《作り方》

- ① 大根、人参は皮をむいてサイの目切りにする。
- ② 鍋にサイの目切りにした物と大豆水煮、グリーンピース缶詰、水を入れて火にかける。
- ③ 具材が柔らかくなったら味噌を入れる。
- ④ ネギを入れて出来上がり